

MARVELIC EXCELLENT

施術マニュアル

ヘアカラー パーマ デジタルパーマ ストレートパーマ トリートメント ブリーチ デトックス

EX1 EX2 EX3 EX7 希釈して塗布します

EX1 :水=1:3(4倍希釈液)

EX2 :水=1:3(4倍希釈液)

EX3 :水=1:7(8倍希釈液)

EX7 :水=1:7(8倍希釈液)

※ダメージレベルや髪質によって原液を使用すると効果がアップします。

EX1 を原液で使用⇒薬剤の働きを促進します。

EX2 を原液で使用⇒ダメージの補修効果をアップします。

EX3 を原液で使用⇒残留アルカリを強力に除去します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は乳化の時や中間処理で **EX2** を6〜8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は乳化の時や中間処理で **EX2** を原液〜2倍希釈で使用します。

◆塗布量

●前処理・中間処理・乳化の時の塗布量

必要な部分に垂れない程度の量を塗布します。

塗布量はフォーマーボトルで5〜20プッシュ(3.5〜14mL)が目安です。

フォーム状にしてカップに取ってブラシやコームなどで塗布します。

または液体のままアプリケーションャーやスプレーで塗布します。

●後処理の時の塗布量

過酸化水素やアルカリを除去するため十分な量を塗布します。



MPLEX1 EX4 カラー剤やパーマ剤などに添加します

MPLEX1 はカラー剤やブリーチ剤に5〜10%添加します。

EX4 はチオ系の1剤に10〜20%添加します。

1N 1H 2B デザイントリートメント(パーマ剤) ※化粧品分類のカーリング料

1N (1剤) はローションタイプ(ノーマル)です。カールとストレート兼用です。

1H (1剤) はクリームタイプ(ハード)です。ストレート専用です。

2B (2剤) はローションタイプ(プロム酸)です。カールとストレート兼用です。

うねりがとれるヘアカラー うねりをとる工程

1



●プレシャンプー

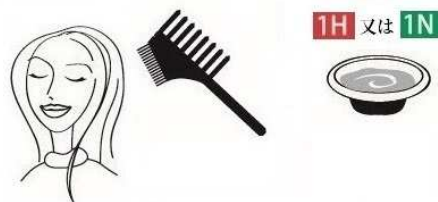
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

●1H または 1N ストレート1剤を選択

ダメージレベルや髪質に応じて 1H または 1N を選択します。

※チオ系の場合は EX4 を10～20%添加します。

2



●ストレート剤1剤塗布

1H または 1N ストレート剤1剤を塗布します

毛先が超ハイダメージの場合 1N の代わりに EX1(原液) を塗布します。
塗布に時間差を設けて根元と毛先を均一に軟化させることが重要です。

3



●加温

時間差を設けて塗布し加温します。(10～15分が目安) ※オーバertime厳禁!

●軟化チェック

軟化が不十分だとクセが取れなかったりアホ毛が出来たりします。

10分以上放置しても軟化不足の場合は 1H ストレート剤1剤を再塗布し放置します。

●中間水洗

4



重要

●中間処理 髪質改善

タオールドライの後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

ダメージ補修効果がアップします。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

5



●ヘアアイロン

完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。

ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。

※ヘアアイロン用のオイルやローションはヘアカラーの酸化重合を妨げるので絶対に使用しないでください。

※ヘアアイロンの工程が終わったら続けてヘアカラーを施術します。

※カラー剤の2剤がストレートパーマの2剤を兼ねます。

工程 1 の前に前処理をおこなうと

クオリティーが更にアップ!!

EX1 や EX2 で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が更にアップします。

◆施術例

クセが取れにくい部分に EX1(原液) を塗布し5分加温するとダメージレスでクセが取れやすくなります。

ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布しハーフドライするとダメージ補修効果がアップします。

ヘアカラー

1



●MPLEX1添加

カラー剤 (1剤+2剤) に対して **MPLEX1** を5%添加します。
ハイダメージ毛の場合は10%添加します。

2

放置



カラー剤 + **MPLEX1**



●カラー剤塗布・放置

カラー剤を塗布して放置します。

●カラーチェック

染まりが甘い部分があった場合は **EX2** を塗布し揉みこむと
発色が促進されます。

3



●乳化 髪質改善

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

お湯ではなく **EX2**・**EX7**・**EX3** で乳化します。

EX2・**EX7**・**EX3** の順で全頭と頭皮に塗布し揉みこみます。

頭皮に揉みこむと頭皮に付いたカラー剤が簡単に取れます。

毛先がハイダメージの場合トーンダウンしやすいので **EX2** 塗布後すぐに

EX3 を塗布します。 **EX3** の後 **EX7** を塗布します。

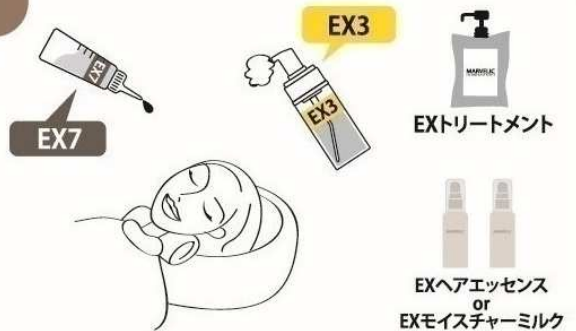
※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は **EX2** を6~8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は **EX2** を原液~2倍希釈で使用します。

●シャンプー

4



●後処理

タオルで余分な水分を取り **EX7** を塗布し更に **EX3** を塗布します。

EX7 と **EX3** を洗い流さないで **EXトリートメント** を塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーフドライのあと、**EXヘアエッセンス**または**EXモイスチャーミルク**を
塗布して仕上げます。

工程 1 の前に前処理をおこなうと

クオリティーが更にアップ!!

EX1 や **EX2** で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が
更にアップします。

◆施術例

中間・毛先に **EX1** を塗布しハーフドライするときれいに発色します。

全頭に **EX2** を塗布しハーフドライすると深くしっかり発色します。

ブリーチ

1



- ブリーチ剤に**MPLEX1** 添加
ブリーチ剤(1剤+2剤)に対して **MPLEX1** を5%添加します。
- ハイダメージ毛はライトナー添加
ブリーチ剤+ライトナーに **MPLEX1** を10%添加します。

2

放置



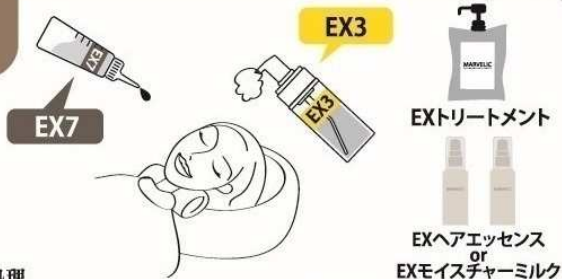
- ブリーチ剤塗布
- 放置
- チェック

3



- 中間処理 ダメージレス
※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。
お湯ではなく **EX2**・**EX7**・**EX3** で中間処理します。
EX2・**EX7**・**EX3** の順で全頭と頭皮に塗布し揉みこみます。
EX2(原液) を塗布するとダメージの補修効果がアップします。
- シャンプー

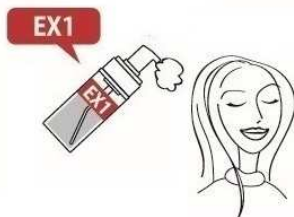
4



- 後処理
タオルで余分な水分を取り **EX7** を塗布し更に **EX3** を塗布します。
EX7 と **EX3** を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。
ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。
※ダブルカラーの場合はトリートメントやヘアエッセンスを塗布しないで水洗してください。

マニキュア

1



- プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いをしてから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。
- 前処理
ハーフドライのあと **EX1** を塗布します。
マニキュア剤が塗布しやすい程度にドライします。

2

マニキュア剤



加温または放置



- マニキュア剤塗布
- 加温または放置
- チェック

3



- シャンプー
水洗の後、EXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。
ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

パーマ

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

●1N パーマ剤1剤を選択

1N パーマ剤1剤の塗布方法を選択します(水巻またはつけ巻き)。

※チオ系の場合はEX4を10~20%添加します。

2



●パーマ剤1剤塗布

水巻またはつけ巻きで1Nを塗布します。

●ワインディング

ワインディングの後、根元にEX1を塗布すると根元が立ち上がりやすくなります。

●1N パーマ剤1剤塗布

●加温

加温します。(10分が目安) ※オーバertime厳禁!

●テストカール

●中間水洗

3



●中間処理 髪質改善

タオルで余分な水分を取りEX2とEX7を塗布します。

EX2とEX7を塗布後5~10分クープするとしなやかでハリのあるパーマが再現できます。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合はEX2を6~8倍希釈で使用します。

軟毛の場合はEX2を原液~2倍希釈で使用します。

4



●デザイントリートメント塗布

EX3を塗布します。

タオルで余分な水分を取り2Bを塗布します。

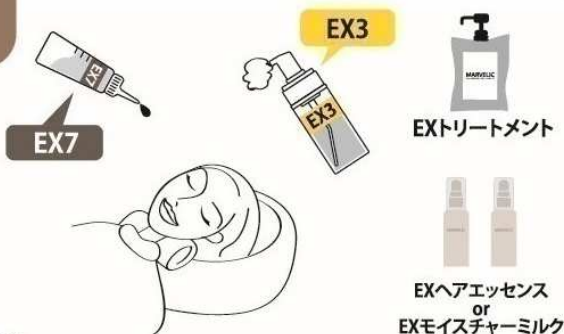
7分+7分放置

ロッドアウト

水洗

※2剤が過酸化水素の場合はEX3を塗布しないでください。

5



●後処理

タオルで余分な水分を取りEX7を塗布し更にEX3を塗布します。

EX7とEX3を洗い流さずにEXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

工程1の前に前処理をおこなうと
クオリティーが更にアップ!!

EX1やEX2で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が
更にアップします。

◆施術例

ハイダメージ部分にEX2(原液)を塗布しハーフドライすると
ダメージ補修効果がアップします。

ストレートパーマ

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

●1H又は1N ストレート1剤を選択

ダメージレベルや髪質に応じて1H又は1Nを選択します。

※チオ系の場合はEX4を10～20%添加します。

2



●ストレート剤1剤塗布

1H又は1N ストレート剤1剤を塗布します

毛先が超ハイドメージの場合1Nの代わりにEX1(原液)を塗布します。
塗布に時間差を設けて根元と毛先を均一に軟化させることが重要です。

●加温

時間差を設けて塗布し加温します。(10～15分が目安) ※オーバertime厳禁!

●軟化チェック

●中間水洗

3



●中間処理 髪質改善

タオルドライの後、EX2とEX7を全頭に塗布します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合はEX2を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合はEX2を原液～2倍希釈で使用します。

4



●ヘアアイロン

完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。

ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。

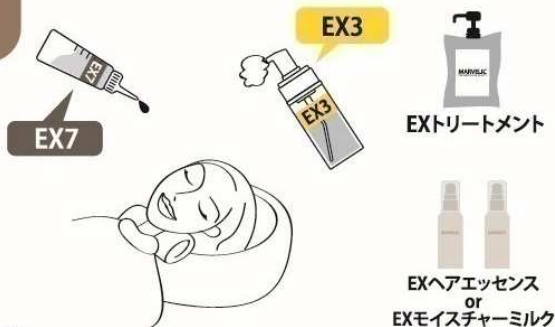
※ヘアアイロン用のオイルやローションは2剤(酸化剤)の働きを妨げるので絶対に使用しないでください。

●デザイントリートメント塗布

EX3を塗布後余分な水分を取り2Bを塗布します。7分+7分放置 水洗

※2剤が過酸化水素の場合はEX3を塗布しないでください。

5



●後処理

タオルで余分な水分を取りEX7を塗布し更にEX3を塗布します。

EX7とEX3を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、

EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

工程1の前に前処理をおこなうと

クオリティーが更にアップ!!

EX1やEX2で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が更にアップします。

◆施術例

クセが取れにくい部分にEX1(原液)を塗布し5分加温するとダメージレスでクセが取れやすくなります。

ハイドメージ部分にEX2(原液)を塗布しハーフドライするとダメージ補修効果がアップします。

デジタルパーマ

1



●プレシャンプー

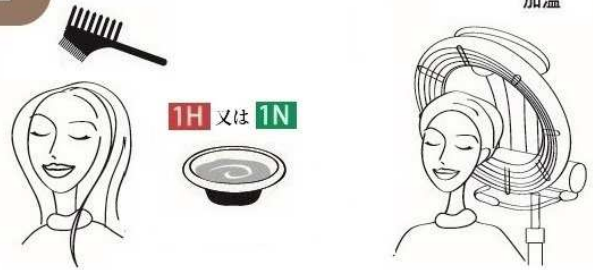
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

●1H 又は 1N パーマ剤1剤を選択

ダメージレベルや髪質に応じて1H 又は 1N を選択します。

※チオ系の場合はEX4を10～20%添加します。

2



●パーマ剤1剤塗布

1H 又は 1N パーマ剤1剤を塗布します。

毛先が超ハイダメージの場合1Nの代わりにEX1(原液)を塗布します。

●加温

時間差を設けて塗布し加温します。(10～15分が目安) ※オーバertime厳禁!

●軟化チェック

●中間水洗

3



●中間処理 髪質改善

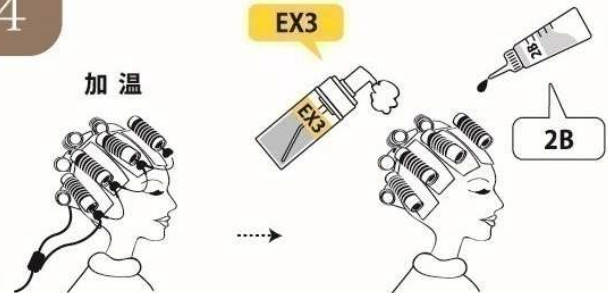
タオールドライの後、EX2とEX7を全頭に塗布します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合はEX2を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合はEX2を原液～2倍希釈で使用します。

4



●ワインディング

●通電 加温 通電終了

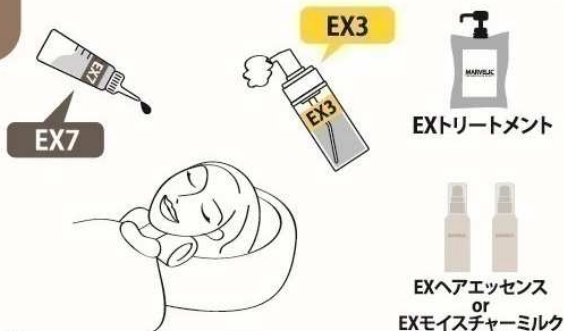
●デザイントリートメント塗布

EX3を塗布後余分な水分を取り2Bを塗布してください。

7分+7分放置 ロッドアウト 水洗

※2剤が過酸化水素の場合はEX3を塗布しないでください。

5



●後処理

タオルで余分な水分を取りEX7を塗布し更にEX3を塗布します。

EX7とEX3を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。ハーブドライのあと、

EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

工程1の前に前処理をおこなうと

クオリティーが更にアップ!!

EX1やEX2で前処理をするとダメージ補修効果とデザイン性が更にアップします。

◆施術例

ハイダメージ部分にEX2(原液)を塗布しハーブドライするとダメージ補修効果がアップします。

リッジが出づらい部分にEX1(原液)を塗布して5分間加温すると簡単にリッジが出るようになります。

トリートメント

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに優しくシャンプーします。

●前処理

ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布します。

全頭に EX2 と EX7 を塗布します。

●加温後ハーフドライ

ラップして5分加温しハーフドライします。

※100℃以下のアイロンで加温もOK！

2



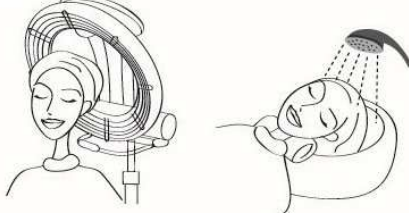
EXトリートメントに MPLEX1 と EX2(原液) と EX7(原液) を各5%添加します。

●トリートメント剤塗布

毛先などダメージ部分を中心に塗布します。

3

加温



EXトリートメント

EXヘアエッセンス
or
EXモイスターミルク

●加温

ラップして10分間加温します。

●水洗

水洗の後、EXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。



デトックス

薬剤を毛髪や頭皮から完全に取り除くことで、「半永久的に退色しない」「リッジがダレない」を実現できます！

カラー剤やパーマ剤などの薬剤を水洗しタオルドライします。

EX2 と EX7 を全頭と頭皮に塗布し揉みこんだあと5分間放置します。

更に EX3 (4倍希釈液) を全頭と頭皮に塗布し揉みこんだあと5分放置します。

EX2 と EX7 と EX3 を洗い流さないでトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

※フィニッシングでしっかり水洗しても過酸化水素やアルカリ剤が残留します。
残留した過酸化水素やアルカリ剤が退色やリッジのダレの原因になります。